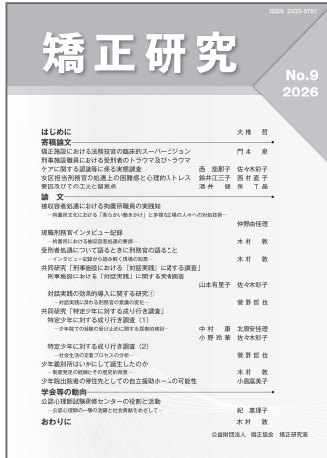


◆ 矯正協会 出版案内 ◆

矯正研究 第9号



- ◎ 本号では、大正大学の門本泉教授から矯正施設における法務技官のスーパービジョンに関する論文、矯正研修所効果検証センターから受刑者のトラウマに関する論文、大手前大学の鈴井江三子教授らによる女区担当刑務官に関する論文を御寄稿いただきました。
- ◎ また、公認心理師試験研修センターの活動について、紀恵理子執行理事から御紹介いただきました。
- ◎ さらに、拘留所職員の実践知、対話実践の効果的導入、特定少年の成り行き調査、少年鑑別所の歴史、自立援助ホームに関する論文等を掲載しました。

(B5版・税込み 1,870円)

寄稿論文

- ・矯正施設における法務技官の臨床的スーパービジョン 門本 泉
- ・刑事施設職員における受刑者のトラウマ及びトラウマケアに関する認識等に係る実態調査 西 茄那子・佐々木彩子
- ・女区担当刑務官の処遇上の困難感と心理的ストレス要因及びその工夫と留意点 鈴井江三子・西村 直子・酒井 健・泉 千晶

論 文

- ・被収容者処遇における拘留所職員の実践知
—拘留所文化における「柔らかな働きかけ」と多様な立場の人々への対処技術— 仲野由佳理
- ・現職刑務官インタビュー記録 —拘留所における被収容者処遇の要諦— 木村 敦
- ・受刑者処遇について語るときに刑務官の語ること —インタビュー記録から読み解く現場の知恵— 木村 敦
- ・共同研究「刑事施設における『対話実践』に関する調査」
刑事施設における「対話実践」に関する実情調査 山本有里子・佐々木彩子
対話実践の効果的導入に関する研究① —対話実践に関わる刑務官の意識の変化— 菅野 哲也
- ・共同研究「特定少年に対する成り行き調査」
特定少年に対する成り行き調査 (1) —少年院での経験の受け止めに関する探索的検討— 中村 康・北原安佳理・小野玲華・佐々木彩子
特定少年に対する成り行き調査 (2) —社会生活の定着プロセスの分析— 菅野 哲也
- ・少年鑑別所はいかにして誕生したのか —制度発足の経緯とその歴史的背景— 木村 敦
- ・少年院出院者の帰住先としての自立援助ホームの可能性 小島富美子
- 学会等の動向
・公認心理師試験研修センターの役割と活動 —公認心理師の一層の活躍と社会貢献をめざして— 紀 恵理子

『矯正研究』第9号の御注文は、下記矯正研究室までお願いいたします。